

地域密着型金融の取組み状況について
(平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月)

富士信用金庫

重点事項		平成24年度中の取組み実績
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化		
(1)創業・新事業支援	・外部機関等とのネットワークを活用したコンサルティング機能の発揮	<ul style="list-style-type: none"> ・創業支援融資、新事業支援融資として平成 24 年度は 16 件 67 百万円の融資を実行いたしました。 ・取引先の経営革新取得にあたり、情報の提供などを通じて積極的に支援いたしました。 ・損保会社 2 社と海外進出企業に関わる業務提携契約を締結いたしました。 ・取引先が海外から原材料を購入するにあたり、信金中金と連携を図りながら情報の提供に努めました。
(2)経営改善支援	<ul style="list-style-type: none"> ・企業に対する支援スキルの向上 ・外部機関等とのネットワークを活用したコンサルティング機能の発揮 	<ul style="list-style-type: none"> ・営業店と融資部経営支援課が連携し、取引先の経営改善計画策定や計画実行の支援を行う態勢を整備しておりますが、平成 24 年度は新たに専門の経営改善支援ソフトウェアを導入し、取引先の経営改善計画の精度向上を図り、計画実行をサポートしております。 ・静岡県中小企業再生支援協議会と連携し、取引先の経営改善に取り組んでおります。 ・平成 24 年度は地元中小企業の発展を支援する融資商品として「PowerアシストⅢ」を創設いたしました。
(3)事業継承	・M&Aのマッチング支援	・静岡県事業引継支援センターによる事業承継、M&A 研修を開催しました。また同センターと連携し、M&Aのマッチング支援に取り組んでおります。
(4)事業再生	<ul style="list-style-type: none"> ・外部機関等との連携 ・再チャレンジの資金調達支援 	・静岡県中小企業再生支援協議会と連携し、取引先の事業再生に取り組んでおります。また一部の取引先についてDDSを実施いたしました。
2. 事業価値を見極める中小企業に適した資金供給手法の徹底		
(1)事業価値を見極め	・目利き能力や審査能力の向上	・取引先 2 社の協力のもと業種別研究会を開催し、本部職員と営業店長の延 38 名が実際の企

重点事項		平成24年度中の取組み実績
<ul style="list-style-type: none"> る融資(不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資)の徹底 		<ul style="list-style-type: none"> 業の現場を訪問して、業種の特性など理解を深めました。 ・若手職員を中心に職員 13 名に対して融資トレーニーを実施し、また平成 24 年度は毎月 1 回土曜日に自主参加型の研修を開催し、目利き能力や審査能力の向上を図りました。
<ul style="list-style-type: none"> (2) 中小企業に適した資金供給手法の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・システム格付の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・取引先の財務データ等をシステムに入力して計量化を図り、不動産担保や個人保証に過度に依存しない融資に取り組んでおります。
<p>3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献</p>		
<ul style="list-style-type: none"> (1) 地域の面的再生 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマッチングの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマッチングの専担者を本部におき、営業店長と連携しながら、取引先のビジネスマッチングに取り組んでおります。 ・「しんきんビジネスマッチングフェア 2012」「しんきんビジネスマッチング静岡 2012」「静岡県東部・十勝帯広ビジネスマッチング 2012」などのビジネスマッチングへの参加する取引先企業を募り、ビジネスマッチングによる新たなビジネス機会を提供いたしました。 ・平成 24 年度もビジネスマッチングガイドブックを発刊し、このガイドブックにもとづき商談や取引が成立いたしました。
<ul style="list-style-type: none"> (2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふじしん経済研究会の活用 ・相談プラザでの活用 ・インターンシップの受け入れ ・地域経済見通しの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふじしん経済研究会講演会を 2 回開催し、延 173 名にご聴講いただきました。 ・地域の中学 3 校 10 名、高校 2 校 8 名、大学 1 校 3 名の学生・生徒さんを職場体験学習として受け入れました。 ・相談プラザを活用し、ローンや年金に関するご相談の他、原則として毎週木曜日には税理士による税務相談も継続して受け付けております。 ・取引先のご協力のもと、景況レポートを発行し、地域経済の現状と見通しを発表いたしました。

経営改善支援への取組実績(平成24年4月～平成25年3月)

(単位:先数)

(単位:%)

	期初 債務者数	うち経営改善支援 取組み先数				経営改善支 援取組み率	ランクアップ 率	再生計画 策定率	
		α	β	γ	δ				
	A	α	β	γ	δ	α/A	β/α	δ/α	
正常先 ①	1,957	2		2	2	0.1%		100.0%	
要 注 意 先	うち その他要注意先 ②	451	19	0	16	18	4.2%	0.0%	94.7%
	うち 要管理先 ③	9	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
破綻懸念先 ④	60	3	0	3	2	5.0%	0.0%	66.7%	
実質破綻先 ⑤	34	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	
破綻先 ⑥	12	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	
	小 計 (②～⑥の計)	566	22	0	19	20	3.9%	0.0%	90.9%
	合 計	2,523	24	0	21	22	1.0%	0.0%	91.7%

- (注)
- ・期初債務者数及び債務者区分は平成24年4月初時点のものです。
 - ・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含みません。
 - ・ β には、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しています。
なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者は α に含めるものの β に含めていません。
 - ・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合は β に含めています。
 - ・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って整理しています。
 - ・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めていません。
 - ・ γ には、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しています。
 - ・みなし正常先については正常先の債務者数に計上しています。
 - ・「再生計画を策定した先数 δ 」=「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」+「RCCの支援決定先」+「金融機関独自の再生計画策定先」